

矢野口地区

令和4年11月10日 (矢野口自治会館)

No.	質問内容	回答
1	市が住所整理を進めているが、該当の住民や事業者にとっては負担になる面もある。メリットや要望があるのか。	宅配業者や郵便業者から、稲城市は番地が飛んでいる等配達が大変であるのご意見をいただいている。住所・番地が混在している現状では様々な問題があるため、整理することは必要であると認識しており、既に審議会での検討が進んでいる。
2	青木米穀店から川崎街道に抜ける道の開通が遅れているようだが、いつごろの開通になりそうか。また、川崎街道まで開通した場合はぶつかる交差点に信号機を新設することになると聞いているが、設置予定地のすぐ近くに既に横断歩道がある。交差点はどのように整理される予定か。	地権者の賛成・反対がある中で、いつ開通できるか目途が立っていない。用地交渉には強制力がない。市としても賛成いただければすぐにでも取り掛かりたいところ、ご理解いただきたい。信号機の整理については課題と認識しているため、管轄する警視庁に要望している。
3	民生委員を務めているが、生活保護を受けている方の孤独死が多くなっていると感じる。見守り電球について、高齢者向けの事業だが、生活保護受給者も対象とすることはできないか。	ご要望として承ります。見守り電球事業がすべてではなく、緊急通報システムという別制度も既にあるが、そちらも高齢独居や基礎疾患がある、障害がある等条件がある。市が税金で全て采配するというのは難しいが、安価なシステムもあり、自費で導入も可能である。引き続き見守り電球事業については検証していく。
4	マイシティレポートの運用が開始したり、なしのすけ商品券がデジタル化する等、市内でデジタル化が進み便利になってきている。市民に広く周知し、デジタルデバインド事業等を活用したデジタル化の普及を図って行って欲しい。	マイシティレポートは、通報場所が市道か都道かまで判別して迅速な対応が可能であり、便利なのでぜひ活用いただきたい。なしのすけデジタル商品券も、従来は購入のため並ばないといけなかったことに対しご意見をいただいていたところデジタル化が実現したため、活用いただきたい。市として引き続きデジタル化の普及に取り組んでいく。